

子育てしているお母さん、お父さん！
いつもお孫さんを見ているおばあさん、おじいさん！
急に子どもを預かってほしい時、ちょっと息抜きしたい時、地域のサポート会員がお子さんのお世話やお預かりなど、育児のお手伝いをします。

ファミリーサポートセンター・緊急サポートセンター

子育てのお手伝いをして欲しいかた（利用会員）とお手伝いをしたいかた（サポート会員）が会員となり、センターの仲介をとおして、会員同士が支え合う活動です。
依頼の内容によってファミリーサポートセンター、緊急サポートセンターを使い分けます。

- ◎預かり場所：サポート会員宅、利用者宅、その他
- ◎預かり対象年齢：原則0歳～小学校6年生まで
- ◎預かり人数：複数可。サポート会員と相談の上決定します。
※病児の預かりは1対1の援助のみとなります。
- ◎保険：NPO保険加入（賠償責任・傷害保険）

ファミリーサポートセンター
・予定が決まっている
・元気なお子さんの預かり

緊急サポートセンター
・急を要する時
・病気のお子さんの預かり

利用時間と料金について

- ◎利用できる時間 午前5時～午後10時
 - ◎利用料金 1時間あたり 800円～1200円
- ※ご利用には事前の登録が必要です。
※美里町から1時間あたり300円～400円の利用料補助があります。利用後に住民福祉健康課へ申請してください。

ご登録したかたに、**3時間無料**
お試し券プレゼント!!

登録、利用についての問合せ
緊急サポートセンター埼玉
※美里町から委託を受け、運営しています。

運営団体 特定非営利活動法人 病児保育を作る会
☎048-297-2903 FAX 050-3488-0147
Mail: byoujihohoku@oboe.ocn.ne.jp
(電話受付時間 午前7時～午後8時 年末年始休)



子育ての様々なニーズに対応するため、こどもの預かりをお手伝いいただくサポート会員（有償ボランティア）を募集します。次の日程（4日間）をすべて受講していただくと、『サポート会員』として活動することができます。

ぜひ、この機会に、地域での子育て活動にご協力ください。

美里町ファミリーサポートセンター 子育てサポート会員を募集します!!

～子育てサポート会員養成講座を開催します～

資格（保育士、看護師、助産師、保健師など）をお持ちのかたは、免除できる時間もあります。都合が合わない日程がある場合は、近隣の地域での講習に振り替えることもできます。

11月14日(水)			ファミリーサポートの活動、新生児のお世話と昨今のお母さん
11月15日(木)	午前9時30分～ 午後4時30分	美里町役場 2階会議室	こどもの体と心の発達・生活・遊び
11月19日(月)	※1時間の昼休憩有		小児の病気の特性、観察とケアなど
11月20日(火)			こどもの事故と安全管理など

- ◎持ち物 筆記用具・昼食
- ◎申込み・問合せ 緊急サポートセンター埼玉 ☎048-297-2903

問合せ＝住民福祉健康課 住民福祉係 ☎76-5132

不要になった小型家電が、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のメダルに生まれ変わります。
日本中から集めた小型家電のリサイクル金属で、約5千個の金・銀・銅メダルの製作に挑戦する、国民参加型のプロジェクトです。
美里町は、このプロジェクトに参加しています。
役場庁舎およびコミュニティセンターに、小型家電回収用の緑色のボックスを設置しております。
この機会に、より一層のリサイクルへのご理解ご協力をお願いいたします。

問合せ 建設水道課 建設環境係 ☎76-5134



回収対象品目



15cm×25cm以内の小型家電が対象です。



10月は3R推進月間です!

ごみの減量・リサイクルにご協力をお願いします。

- ◎生ごみの水切りをしましょう。
- ◎外食時は食べられる分だけ注文し、食べきるようにしましょう。
- ◎買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにしましょう。
- ◎買う前に、本当に必要かどうかもう一度考えましょう。



◎不要になったものでも、それを必要としている人がいるかもしれません。大きくなって着られなくなった子供服は、友人や親せきに譲ったり、リサイクルショップに売ったりしましょう。

- ◎ごみをしっかり分別することがリサイクル品質の向上につながります。びん、かん、ペットボトル（ラベルをはがし、中を洗う）、新聞紙や段ボールなどは資源ごみで出しましょう。
- ◎家電を正しくリサイクルしましょう。



高齢者の事故が多発しています!

皆さんで「思いやり運転」を心がけ、交通事故ゼロを目指しましょう。

- ・交差点を通行するときは、自分の目でしっかり安全を確認しましょう。
- ・信号機が「黄色」または「歩行者用信号が点滅」しているときは、次の青信号まで待ちましょう。
- ・70歳以上の運転者は、高齢者マークを付けましょう。
- ・運転に不安を感じたら、運転免許証の自主返納を検討しましょう。
- ・夕暮れ時や夜間の外出は控えましょう。

